

第2回精密工学に関する国際会議 (2nd International Conference on Precision Engineering)

静岡大学工学部(現、電気通信大学 電気通信学部)

助教授 青山尚之

(平成7年度国際会議等参加助成 AF-95041)

開催日時：1995年11月22日～25日

開催場所：シンガポール

国際会議報告

筆者は、1993年の本財団による研究助成(AF-93038)を受け、得られた成果をまとめてこの国際会議で発表を行った。この国際会議では精密製造技術の動向と創造を主題として、GINTIC工科大(シンガポール)が中心となり、先端加工機械、切削・塑性加工技術、物理化学的加工および計測品質管理を含めた幅広い分野の研究技術者による構成されている。会議は3日間にわたり開催され、160件の発表と約350人の参加者があった。同時にアジア製造技術国際見本市が併設され、アジアでの製造技術の興味の高まりが予感された。会議では精密製造技術を中心とし、22の分野に分かれて論文発表が行われ、活発な学术交流が展開された。筆者らのグループはロボット応用のセッションでミニロボットによるマイクロハンマー塑性加工(=Micro Hammer Forming Performed by Miniature Robot)について発表を行い、精度の保証をどのように行っているのか、今後どこまで精度を向上させる予定なのかなどの質疑があった。

謝 辞

本国際会議の参加にあたり、本財団の国際会議参加助成を賜りましたことを感謝いたします。

参考文献

Hisayuki Aoyama, Hedetake Kato, Futoshi Iwata and Akira Sasaki;
Micro Hammer Forming Performed by Miniature Robot,
Proc. of
2nd Int. Conf. on Precision Engineering, (1995)pp.680-383